



おっしゃれーなバス停ができたんやざー！



福井駅前（福鉄バス）撮影 / 田山

活動報告

- 11月26日 全国路面電車サミット実行委員会
- 27日 まちづくり市民シンポ
- 30日 福井市消費者まつり
- 12月6日 人と環境に優しい交通をめざす全国大会
- 12日 福井市地域生活交通活性化会議
- 12日 12月例会

今後の予定

- 12月20日（土）民主党若手メンバーの勉強会
- 1月16日（金）1月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「社会的ジレンマの処方箋」

（副題）都市・交通・環境問題のための心理学

藤井聡著 ナカニシヤ出版 2800円＋税

ISBN978-4-88848-813-6 C3011

ゲームの理論の交通版教科書である。囚人のジレンマや、共同牧場の悲劇など、ゲームの理論を現実の交通・環境問題に当てはめて説明されており、おもしろい。ただ、解決策を規制制度や税制だけに求めるのではなく、事実を知らせることや、公共心の教育までに広げているところに一般向けの図書としては新規性がある。（学会では新規性がないのかどうかわたしにはわかりません）これも「知らせる」ことも会の目的である ROBA の会員の皆様にはぴったりの本です。

（財）国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

「全国バスマップサミット in 新潟」に参加して

内田桂嗣

1月1日～2日新潟市で第6回バスマップサミットが開催された。今回は主催の事情もあって「わがまち公共交通会議」という新潟市の公共交通について考える会議の一環として行なわれた。会場は天寿園という中国の建材で中国の大工によって建てられた建物。

第1日目は「わがまち公共交通会議」が開催され、まずはリレーセッション。主催のいがた環境交通研究会会員、新潟市交通政策課長、新潟交通指導課長、JR東日本新潟支社、信濃川ウォーターシャトル(株)社長、(株)サイクルシティにいがた社長の6人がそれぞれの立場で現状説明。信濃川での水上交通やレンタサイクルを事業としてまちなかの移動に寄与しているのが注目だ。次にパネルディスカッション。仙台で活動している足立さん、地元の女性、岐阜市出身の学生、中国の留学生がそれぞれの視点で公共交通について議論した。

2日目がいよいよサミット本番だ。午前の「公共交通とまちづくり活動」の分科会ではROBA 林博さんがROBAの「ホ・ジ・ロ・バ」を中心とする活動について基調提起となるような発表があり、今回のバスマップサミットのたたき台として論議が進んだ。午後は全体会議が行なわれ、サミット宣言を採択して幕を閉じた。なお、次回開催地は沖縄市と決定した。

《新潟市の交通について》

新潟市は2年前に政令指定都市に移行し、人口81万。信濃川や潟に囲まれていて水の都といわれている。都市交通の中心はバスであり、新潟交通が1社で運行している。鉄道はJRのみで私鉄はない。また、まちなかでは水上バスが運行していたり、ペロタクシーやレンタサイクルも観光を中心に機能している。特にバスの利便性向上が課題となっている。オムニバスタウン計画を基に強化をしつつある。ノンステップバスの導入、ICカード、PTPS、バス停上屋、駐輪場、バス接近表示、P&Rなどがその一例である。

ただ、サミット会場へ行くルートも基幹バスの区域であるものの、土日は1時間に1便しかなく会場への便は決して良くない。しかしながら、新潟駅の駅前と南口にはバスターミナルが至近な距離にあり、雨に打たれずに済む。また、新潟駅から北側の中心市街地では1km以内は100円の運賃である。路線は49路線172系統(平成19年度)

今後LRTや次世代型バスシステムなどの新交通システムを指向して質の高い交通サービスを展開する計画のようだ。なお、JR在来線の連続立体交差事業がもうじきスタートする。現在は歩行者も階段を上がり下がりしなければならず、南北にバリアーが存在しているがこれが解消されると利便性はもっと向上するだろう。



DC ドコーの広告バス停上屋



サミット会場行きのバス停で



新潟駅前のバスターミナル（10路線）



オムニバスタウンのステッカー



発表者席の林さんと RACDA の岡さん



バスマップサミット会場風景

今回は福井の路面電車サミットも終わってひといきついたためか、これまで最高の4人が参加。そのほかにも、松原さんが阪神マップの代表として参加した。福井から始発のはくたかで二人、芦原温泉から一人、なぜか富山から一人、と無事全員揃って出発。

会場到着後すぐにマップの展示をしたが、7月のMM会議の展示を参考にしたため大幅な時間短縮が出来て、すぐにリレーセッションに参加できた(内容は他の報告を参照)。

夕方の幹事団体会には私が参加して、マップ本の発行や次回開催地について意見交換した。本については、タイトルを『バスマップで交通まちづくり ~バスマップ 市民の挑戦!~』とし、年内に原稿締め切り、年度内に発行することを目標とすることを決定した。ROBAはのりりマップの紹介とマップによるまちづくりの部分を担当しており、現在私が原稿を準備中です。次回開催地についてはここでは決まらず持ち越して、一旦交流会に。

交流会では、サミット開催地順に自己紹介と銘酒や珍味の披露。銘酒や珍味は、開催数日前に突然、交流会に各地の酒と珍味を持ち寄りましょうという案内があり、あわてて準備したのですが、日本酒は新潟にいっぱいあるし米焼酎でも同じだし、お酒は(重いので)あきらめ、北陸にも無い物で女性に人気の水羊羹にすることで決定。酒のつまみはへしこでは食べにくいし、結局、店で見かけた塩鱈にしたのですが、水羊羹は男性にも人気で大成功、塩鱈は会場の売店にもお土産で売っていて大失敗。各地も悩んだようで、岡山はのんべいマップのこともあり地酒で勝負、沖縄はやはり泡盛とチンスコウ。松江はだんだんにちなんだお菓子、広島はもみじ饅頭と、やはりデザート系、懇親会を盛り上げるアトラクションになった。



ずらり並んだ各地の銘酒や珍味

懇親会後の2次会にも引き続き参加。そこでは自然と次回開催地について話題が集中し、WEB系は大会運営が無理だし、欠席裁判はやれないしとか、すっかり行き詰ってしまったとき、ぼつりと『バスマップを年内に公表する予定で、もし皆さんがバス利用促進の支援に来てくださるなら開催してみようかと思うのですが、大丈夫でしょうか?』と沖縄の谷田貝さん。みんなは酒の勢いで、もちろん行く行く、飛行機の安い時期にしてくれとかで、すんなり決定。呑コミュニケーションのパワーはすごい。さーあ皆さん、参加費の準備を今からしっかりとしておいてくださいよ。余談ですが、翌日参加した札幌の松本さんが、次回は最西端なら、じゃあその次は最北端の北海道ですか?と。もしそうなったら財布が持たん。でも行きた~い!

翌日のマップの分科会と並行して行われた「公共交通とまちづくり活動」の分科会では、主催者のいいた環境交通研究会から、今回の大会テーマを「わがまち公共交通会議」とするので、公共交通まちづくりについて、ROBAを例にして第9回全国路面電車サミット2008福井大会や北陸連携並行在来線等活用市民会議中間報告を含めて紹介してくれないかという依頼がありました。ROBAの4つのNPO事業をこの際だからついでに公共交通まちづくりの視点



でまとめておけばいいかと思って引き受けました。ROBAの活動をあらためて整理してみると、非常に多くの活動が年を追って幅広く行われてきていることを再認識することが出来ました。この内容については、また別の機会にお知らせしたいと思いますが、この日の会議への議題提供としては、少し総花的になってしまったことを反省。

午後の全体会議「これからの公共交通をかたる」は、会場の特長を活かして六角座?いいセッティング。

第6回バスマップサミット in 新潟に参加して 高橋 八州太郎

第1回を岡山で、そして第2回を福井で行ったバスマップサミットは回を重ね、6回目となった。内田会長、林ひ理事、林照理事、そして私の4名で参加した。

今回の会場は中心市街地から少し離れた中国の庭園と日本の庭園が共存する公園「天寿園」の中にある集会場が会場となった。福井駅からの距離で言えば、おさごえ民家園のあたりである。

初日はリレーセッションとして、にいがた環境交通研究会、バス事業者、市交通担当者、鉄道事業者(JR)、船(水上交通)事業者、自転車(レンタル)事業者のそれぞれが現況を発表。まさにわがまちの公共交通を語るにふさわしいセッションだった。その後、学生や利用者などを交えて、パネルディスカッションとなったが、前半の事業者も入り10名近くの登壇者となり、総花的となりなんとなく焦点がないステージとなったことは残念である。ただ、学生の方、特に留学生からの新潟市の交通について語っていたのは評価できた。

その晩の懇親会は、各地の名物を持ち寄ってくることがミッションがあり、福井からは と を出しました。(は林ひさんの原稿で)

北は北海道、南は沖縄からの参加です。各地の紹介、自慢など楽しい宴席となった。販売コーナーでは路面電車サミット福井大会のDVDの販売も行った。反響もよかった。

2日目は、まちづくり関係の部会とマップづくり部会があり、私は後者の部会に参加。他の3人他の部会に出席。私の部会では、マップづくりの技術的な部分での話があり、かなりマニアックな部会でした。

そのなかでも「のりのりマップ」の内容、表現力は他のマップの参考になっていると改めて実感した。

各部会の終了後は全体会議なり、マップのもつ意味とかその効用などの議論のとき、福井でのTFPの例をあげ、交通手段情報を流すことによって公共交通を活用しようとする意識が芽生え、1割近くの方が公共交通を利用する結果があったこと事、その媒体としてののりのりマップが使われたことを紹介した。

その他いろいろな意見が出た。また、通例、サミット宣言を議題としたため、かなりこのことで議論が紛糾してしまった。もう少し運営をうまくすればと思い、電車の時間を気にしながら途中退座し帰福の途へ。

最後に今回の新潟のバスマップサミットの実行委員長をしたS氏はたびたび福井、金沢へ来ており、ROBAや他の団体の運営方法などを学んできた方でとても熱い方でした。彼の情熱とバスマップのメンバーとのMLなどがあって今回のバスサミットが無事開催できたと思う。やはり「情熱」を持つことにつきるか？

バスマップサミット in 新潟 報告

右上の写真はJR新潟駅南口バス乗り場での写真です。並んでいる皆さんもROBAのメンバーも同じバスに乗るのですが、新潟の皆さんはキチンと並んで待っていました。福井市内バス乗り場では見ることがない光景でしたので、とても新鮮でした。このあと、乗車率200パーセントいやギネスブック挑戦かと思うほどの乗客を乗せて(もちろんROBAのメンバーも)バスマップ会場に向けて出発しました。



1日目の「リレーセッション」には驚きました。新潟市役所交通政策課長・新潟交通乗合バス部指導課長 JR東日本新潟支社企画室長をはじめ、船舶や自転車事業者など新潟市の交通関係者を一同に集めた力わざに。

福井でも市民・京福バス・福井市・ROBAを交えたシンポジウムが開催したいものだ・・・。

報告 / 林 照翁



福井市立鶉小学校 オータムフェスティバルに参加しました！

11月8日土曜日に福井市鶉小学校でのオータムフェスティバルにROBAが参加したので、その報告をいたします。鶉小学校は、数年前（多分平成13年からだと思う...）から環境教育に力を入れており、昨年までは「鶉エコエネランド」という名前で環境学習会を開催していました。午前中は児童が学年ごとに研究してきた内容を発表するもので、自動や保護者がそのブースを回って参加します。午後からは大人のブースが開かれ、地域の婦人会や自治会、福井大学や関西電力など、エコに関する団体がブースを運営し児童が参加するものです。今年から名前が変わりましたが内容は同じです。



地域の自然を紹介。この自然を守っていくにはどうしていかなければならないかまで踏み込んで研究しています。鶉にはコウノトリが飛んできたこともあったり、現在はコハクチョウが来ます。環境省で絶滅危惧種のミズアオイが60年ぶりに田んぼから芽吹いたり自然豊かな地域です。



たくさんのブースがあってとても楽しかったです。子供の能力や知恵、発想は素晴らしい！

さて、ROBAは「ホジロバを使ったパークアンドライド」について勉強をしてもらい、「自転車の乗り方交通安全クイズ」を行いました。このクイズがなんと！やったことがある児童がいて、「楽勝！」「やったことあるも〜ん」と大きな声でささやかれつつ楽しく過ごしました。

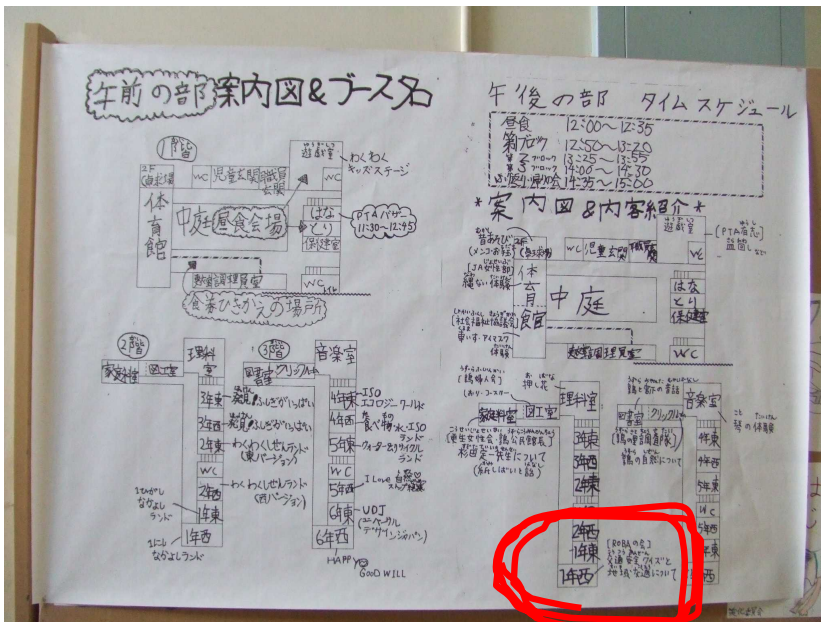
パークアンドライドは京福バスとえち鉄についてで、鶉地区でもできるP&Rとして、京福バス鮎川線の「すかつらんど九頭竜」のバス停にあるP&R駐車場。えち鉄は西長田駅を例示に、のりのりマップを使いながら、P&Rについて学習しました。

自転車クイズは交通安全協会から出ているクイズをそのまま活用させてもらい、×旗挙げ式でクイズを進めました。さすが高学年！常識が分かるようで、ほとんどが大正解でした。ただ難しかったのは「自転車は車の仲間かどうか」という問題が難しかったようです。それにしても正解率は凄かった！

ROBAはこれまでも、大学生の学生さんを相手に、また大安寺小学校の総合学習等で教育の現場にも参加させていただいています。しかし今回は学校と地域とNPOと一緒に1つのイベントに参加し、今後も継続していけるような試みは初めてです。来年も参加させていただけるようなので、毎年少しづつレベルアップしながら、子供と共にROBAも成長していかなば.....。(はた みゆき)



1回30分の持ち時間で3回教室を開きました。それぞれの回ごと・内容毎に先生を変えて挑戦中。。 自転車クイズは旗揚げ式で。



児童手作りの会場案内。ROBAは1年生の教室を使いました。ままごのような小さい机とイスが可愛かったデス。



高橋さんと堤端さんは地域の婦人会のブースで、しおりとコースターを和紙で作りました。楽しそうでしたよ。

福鉄感謝祭開催

田山 治

開催日時：2008年11月9日（日）

場 所：福井鉄道福武線各駅・西武生車庫構内

去る11月9日に福井鉄道で仁愛大学^{きんだ}金田研究室（ゼミ）主催による「福井鉄道感謝祭」が開催されました。

主な催しとして、電車ですごろくゲーム、電車の運転体験が実施されたほか鯖江市の誠照寺で行われた「誠市」とのコラボでの開催で、大盛況に終わりました。あいにくの曇り空で時々小雨がばらついたものの、「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」で子供たちは元気よくはしゃぎ回っていました。

電車ですごろくゲームでは鉄道線各駅（福井新～武生新）に学生を配置し、アトラクションを展開。私は浅水駅で有名アニメのテーマイントロを流して2回当てたらサイコロを振って出た目の数だけ駅を進み、1回間違えたらお休みというものでしたが、簡単だったせいかみんな次々と当てていました。他の駅では、×クイズ、ジュース一気飲み、なぞなぞ、学年テスト（算数）などのアトラクションが展開されたようです。

すごろくゲームが終わり終点武生新駅ではクロスワード答え合わせ、指令室の見学が行われました。

その後、事前申し込み、抽選で選ばれた子供たちを対象に西武生駅の留置線で運転体験が行われました。近くは県内（主に越前市）遠くは愛知県から来るほどの人気ぶりで子どもたちは初めての運転に緊張しながらもアドバイスを受けながら上手に電車を動かし停止位置に停めていました。

最後に今年の様子を写真で紹介します。





福井鉄道感謝祭



開催日時 11月9日(日) 雨天決行

電車で すごろくゲーム (小学生 各組 20名 福井新駅 集合)

参加者は当日 **子ども1日フリー乗車券(250円)** を購入して、**福井新駅** 発9時34分、10時14分、10時54分の上り電車に乗車、サイコロの目に従い駅で乗り降りし、途中ゲームやクイズをクリアして上がり駅である**武生新**に早く着くことを競うゲーム 各組の1~3位の方に豪華な**賞品進呈** 全員に参加賞進呈

なお、ゲーム参加者は到着後**武生新駅**の **運転司令室** を見学できます

希望者は10月31日までに**往復乗車に住所、氏名、電話番号、希望乗車時刻**を記入 **仁愛大学金田研究室**まで申し込み 定員の関係で乗車時刻変更をお願いする方には連絡します (保護者の1日フリー乗車券「500円」での同乗も**大歓迎**)

電車の運転体験 (小学生20名 申込み多数の場合抽選)

13時から**西武生車両基地**内で小学生が制帽着用し、実際に**電車**を運転する運転体験希望者は10月31日までに**住所、氏名、電話番号**を記入し**往復はがき**で**仁愛大学金田研究室**まで申込んでください 当日運転体験していただく方には、返信用はがきで運転体験していただく予定時刻などを連絡します
なお、運転体験者には記念写真つき**福鉄運転免許証**を後日送付します

誠市・ご縁市・寺deラテ・越前ぶらりツアー・府中国遊会 と福鉄電車のコラボレート

電車に乗って 越前、鯖江の街中イベントに参加し秋の1日を存分に楽しむ福井鉄道の1日フリー乗車券でご来場の先着合計100名の方には、会場で使えるお買い物クーポン券または **Teppie (小物入れ)** を差し上げます

福鉄グッズ・鉄道・車両部品の展示・販売

西武生駅構内で**福鉄グッズ 鉄道・車両部品**の販売 午後1時から3時まで

企画実施 〒 915-0015 越前市大手3-1-1 仁愛大学 金田研究室

お問い合わせ先 福井鉄道 鉄道部 0778-21-0706

「車に頼らない人にやさしいまちづくり」ワークショップ報告

11月29日(土)に、福井市森田地区文化委員会の「車に頼らない人にやさしいまちづくり」ワークショップ活動として富山ライトレールと呉羽いきいきバスの視察に出かけ、ROBAからは林(照)理事と鳥居が参加した。

富山ライトレールには団体割引や回数券の制度がなく、東岩瀬で降車時に33人分まとめて6600円を運転士に差し出すと、運賃集計の都合上千円札をすべて100円玉に両替してから運賃箱に投入するように言われた。私も含めて運転席付近に陣取っていたメンバーが手分けして対応したが、後から考えるとプリペイドカード(pasca)を新規購入して6000円チャージし、33人分の支払いに使った方が安上がりであった。pasca利用の場合は普通運賃200円が160円に割引になるため、デポジット分500円を捨てたとしても $160円 \times 33 + 500円 = 5780円$ となり、6000円でお釣りが来る計算になる。

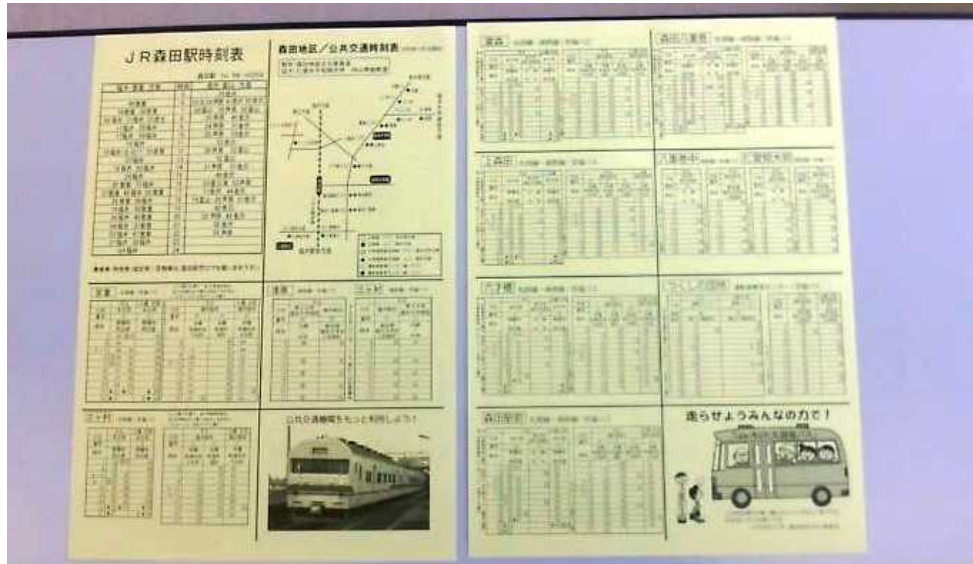


岩瀬地区の観光と昼食を済ませた後、JRで富山から呉羽まで移動し、2班に分かれて呉羽いきいきバス(富山市呉羽地区のコミュニティバス)に試乗した。今回乗車したのは長岡・寒江ルートで、主に呉羽駅の北側と東側をカバーしている。この路線は8の字ループで呉羽駅を2度通るため、駅から出て最初に見つけたバス停には、視察隊の1班が乗車予定の時刻14:45が書かれておらず、道路を渡った向かい側のバス停から発車することに気づくまでメンバー全員一瞬焦っていた。

視察隊の1班16名で満席となった中型バスは、ショッピングセンターや病院、公民館等を経由して30分後に呉羽駅に戻り、ここで2班のメンバー(8の字ループの後半に乗車)と交替した。すれ違いが困難な狭い道を通ることも多かったが、対向車が来ても運転手は慌てずに終始落ち着いたハンドルさばきで、安心して乗っていられた。運行に必要な経費として富山市の補助金や沿線企業の広告費だけでなく、住民の協賛金(1世帯あたり年間400円)も充当されているため、地域の足として親しまれ定着しているように感じた。

呉羽は富山からJRの普通列車で1駅かつ所要時間も5分で森田と環境がよく似ているため、今回視察した経験を踏まえて、森田地区の住民が主体的に公共交通網について考えていく足がかりにして欲しいと思った。

報告 / 鳥居



長年の夢がひとつ実現しました！ 森田地区 / 公共交通時刻表 涙 涙 並だ？・・・

5年ほど前に自家製・森田地区公共交通時刻表を作り、JR森田駅の窓口に置いてもらったことがありました。ただし、2回ほど印刷しただけであとは続きませんでした。今回は仁愛短大・内山秀樹教室の学生の方の協力を得て、12月6日森田地区全戸（約3,700戸）に配布することができ、長年の夢がひとつ実現し大変うれしく思っております。

福井新聞でも紹介され（12月6日）次回は「えちぜん鉄道 / 中角駅」の時刻表も載せてほしいという要望が早くも上がっており、改訂版はもっと内容を充実していきたいですね。もちろん、発行が継続できるように公共交通に乗ってもらえることも大事です。

ま 八口ーもりた

12月号 No.201 平成20年12月5日発行

森田公民館 TEL/FAX 56-0195.
E-mail: morita-k@mx1.fctv.ne.jp
http://www1.fctv.ne.jp/~morita-k/

『車に頼らない人にやさしいまちづくり』の実現に向けて

11月29日、富山県へ先進地視察に行ってきました。『こんな電車が家の近くに走っていたら、自家用車はいらんの一』は富山ライトレール試乗後の声。また、「呉羽いきいきバス」がせまい路地をすいすい走る乗車体験は、森田地区のまちづくりに大いに参考になったことと思います。33人の参加者の中には自治会や社協、長寿会からの参加もあり、それぞれの立場での思いを語っていただきました。

・「いきいきバス」への乗車体験は、森田地区における運行について、可能性などを実感でき少しばかり身近に感じられました。さまざまな課題への検討や関係機関との協議が必要と存じますが、社会福祉に関わる一人としては、実現に向けた輪の広がりを期待するとともに、活動に積極的に参加していきたいと思っております。（社会福祉協議会）

・「いきいきバス」はその料金の安さ、コースの行き届いた細かさに感心し、『我が森田地区にもこのようなバスを走らせることができれば』という思いがしま

す。しかし、実現のためには、①地区民の詳しいニーズの分析②コースと頻度③市の支援、補助は得られるのか④協賛企業、病院などの理解と支援など、今後充分な検討が必要と思われます。（自治会）



（左）呉羽いきいきバス
（右）バス停は特産物の“梨”をデザイン

今後は、各団体の方からいただいたご意見や「JR森田駅の利用者アンケート・全地区民対象の公共交通に関するアンケート」の集計結果などを元に、森田で今できることは何か？を「NPO団体ROBA」とともに2回のワークショップを開催して探ります。
※今回「公共交通時刻表」を全戸配布しましたので、どうぞご活用ください。＝森田地区文化委員会＝

平成20年11月13日

ROBAの会
畑 みゆき 様

福井市鶉小学校
校長 石田 和幸

学校行事「2008鶉っ子オータムフェスティバル」における講師派遣のお礼

晩秋の候、貴職におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびの本校での学校行事「2008 鶉っ子オータムフェスティバル」に際しましては、ROBAの会の皆様が講師として、子どもたちに「交通安全クイズ、地域交通について」ご指導していただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、豊かな体験をすることができました。おかげさまで、大好評のうちに、学校行事「2008 鶉っ子オータムフェスティバル」を終了することができました。

これはひとえに、ROBAの会の皆様のご指導と深いご理解の賜ものと、深く感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。



照ちゃんの気になる風景 part11



11月29日(土)
富山視察で立ち寄った岩瀬浜にある富山港展望台から撮影。中古自動車を満載した船はおそらくロシアに向かうのでしょうか。

作 / 漆崎 耕次

中には事故車なども積んであり、部品取りに使うのでしょうか。岸壁には積載を待つ中古車がたくさん停まっていました。

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「竹内まりや『人生の扉』は心に沁みますね・・・」

塚谷(副編集長)

「J2山形が昇格し、J1大分が大活躍。いつか福井も！」

内田(発行責任者)

「サミットも終わったのに、今回の誌面は12ページも！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>